



発行 今井町並み保存会
 発行日 令和5年9月1日
 電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
 ◇ご意見・ご感想は
 今井景観支援センターまで

第16回 今井灯火会 開催

― 昨年を上回る賑い ―

8月5日(土)、酷暑の中昨年に続いて今年も今井灯火会を開催しました。

今年は「コロナの重圧も軽減され昨年並み以上の灯火会を企図して実施。当日は朝から「今井灯火会」の大看板を4年ぶりに蘇武橋・中蘇武・今井地区公民館に設置し、灯火筒は昨年の2割増しを準備しました。



点灯式は、陽も落ちて薄暮の中19時から華葦正面玄関前で挙行しました。町内各所では夕方6時前から昨年通り華葦



周辺、中尊坊通り、御堂筋、宮の前通り、旧南口門周辺、稱念寺境内、春日神社境内、今井西

環濠に配置し、自治委員・区長の方と地元町内の方が一緒になって点灯準備、点灯、見守り、消灯後始末を担っていただき、昨年同様に地域づくりを勉強中の7人が大看板の制作・設置や後片付けを手伝ってくれました。

今井灯火会は、灯火を見ながらゆっくり歩いて古い家並みの影とほのかな灯火に風情を感じていただくのに加えて今年復活した催事として、稱念寺本堂での「呈茶席」、藪内家での「いまい・灯火会 箏しive」、今井まちづくりセンターでの子供向けの「絵本読み聞かせ」があります。

又、今井西環濠では「灯笼流し」が人気で、昨年の2倍以上、30基の灯笼が環濠の水面にゆれて幻想的な雰囲気醸し出していました。



春日神社では、畝傍山麓山本町の「お大師さんの井戸」から汲んできた水で作った「冷やし飴水」が無料で振る舞われました。小学生の子供達がそれぞれの願いや祈りを短冊に書いて七夕飾りも夏の行事に彩りを添えてくれました。

春日神社



稱念寺本堂



旧南口門



七夕飾り



灯火筒の口ウ取り



スーパーカー

今井町を通り抜け

8月6日(日)午前10時すぎ、今井町自治会主催の「こども夏祭り」皮切りの催しとして、今井西環濠の駐車場にスーパーカーが9台並びました。

車種は、「ランボルギーニカウンタック」「マクラーレンアルトゥーラ」「フェラーリ」「ジャガー」等で、一台数千円から一億円以上という超高級車です。

米川自治会長の知人のグループが今井町のこども夏祭りを盛り上げるイベントに協力してくれたらしいですが、子供達は大喜びでした。米川会長の歓迎挨拶のあと、



スーパーカーは今井町南の外周道路を経て、中尊坊通り・御堂筋をゆっくり走り抜けました。町かど辻々には大人達も車見物で大賑わいでした。車を運転する人、助手席に乗っている人も町民の歓迎に添えて手を振っていました。中にはサービス精神旺盛なドライバーが車のドアを上にはね上げたまま走行していました。

走行後は再び9台が並んで駐車し、子供達は汗だくになりながら、スーパーカーと一緒に記念撮影に一生懸命でした。運転席に乗せてくれるスーパーカーが2台あり、特に人気がありました。

かつてクラシックカーが今井町を走ったことがありますが、古い町並みとスーパーカーという組み合わせも一興です。

今井町でフィールドワーク

県立高田高校生

6月下旬、県立高田高校の大西一則先生から当保存会に連絡があり、第2学年の授業「総合的な探究の時間」において、生徒さんがフィールドワークを実施して、地域や社会人の専門的な知識を持った人から直接話を聞いた



り見学したりという学習をしたいので協力して欲しいと要請がありました。

日程が8月5日(土)で灯火会の準備作業と重なりましたが、9時に華薨玄関で大西先生に引率された3人の女子高校生に出会い、中西当保存会会長が華薨の展示室で約一時間ジオラマや写真等展示資料を見ながら今井町の歴史や文化財そして重要伝統的建造物群保存地区としての存在意義等について話をしたあと、森本育寛氏が町並みと古民家を見学しながら具体的な解説をしました。

酷暑の中、案内するのも大変でしたが、生徒さんは映画のロケ地には一層関心があるようでした。

「甦る今井御坊稱念寺」発行

重文稱念寺が12年の歳月をかけて復原修理されたのを記念して一般社団法人今井町大和観光局が「甦る今井御坊稱念寺」と題する冊子を発行しました。

第一章は「稱念寺の歴史」、第二章は「稱念寺本堂 平成・令和の大修理」、第三章は「稱念寺経過年表」。

著者は森本育寛氏と森本修平氏
冊子は、A4判、50頁(一部カラー刷り)

